

平成 30 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ II 講座・准教授
氏名 Name	菊池 正和
専門分野 Academic Field	イタリア近現代演劇

主たる研究テーマ Principal Research Subject	1920 - 30 年代の未来派演劇の劇作法について
<p>近現代イタリア演劇における演出の成立過程を跡付けるとい研究課題の一環として、平成 30 年度は 1920 年代から 30 年代のイタリア演劇に関する以下の研究を行った。</p> <p>(1) 未来派を代表する劇作家フィリッポ・トンマーゾ・マリネッティの 20 年代から 30 年代初頭にかけての戯曲作品を「連鎖的シンテジ」という特異の劇作法を中心に分析し、その目的が、より安定した劇形式の中に未来派演劇の断片的な劇作法を導入することであったことを論証した。また、その試みが失敗したのち、再び同時性を中心とする劇作法へと回帰した経緯を、当時のファシズムの台頭との関係性の観点から考察した。</p> <p>(論文) マリネッティの「連鎖的シンテジ」 — 秩序への回帰が意味するもの 『言語文化研究』第 45 号 (大阪大学大学院言語文化研究科) 2019 年 3 月 31 日 (刊行予定)</p> <p>(2) イタリア語の初級から中級の学習者に向けての教材の開発</p> <p>(共著) 『世界の言語シリーズ 13 イタリア語』Giulio Antonio Bertelli, 菊池正和, 大阪大学出版会 2019 年 3 月 31 日 (刊行予定)</p>	